取扱説明書番号
D159-CGXZ

CITIZEN®

電波時計　取扱説明書
（デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元　リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1406)

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて製品をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番　　8RZ159
※保証期間　お買い上げ　　年　　月　　日より　1年間

お客様ご氏名　　　　　　　　　　様
ご住所
TEL（　　　）　　　ー

※販売店印（住所、店舗名、電話番号）

○本保証書は再発行いたしません。　　※印は販売店記入

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
8.電池の交換。

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報は、製品の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

お問い合わせ先
（フリーダイヤル）
お客様相談室　0120-557-005
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ159」をお伝えください。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❶は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷を付けない。　●電池を分解しない。　●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。　●電池を加熱しない。　●電池を火の中に入れない。

電池から漏れた液に触れない
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

分解禁止

分解や改造をしない
故障の原因になります。

禁止

落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

禁止

下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●暖房機器からの風が直接当たる所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
●プールや温泉場などガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について
●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

お手入れについて
●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄
●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について
静電気の影響により、表示の一部が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。

おもな製品仕様

項目	仕様
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
液晶可読温度範囲	0～40℃
時間精度	電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（温度が5~35℃のとき）
使用電池	単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03　2個
電池寿命	約1年 1日当たりアラームを30秒鳴らし、照明を3秒点灯した場合
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正
受信局	福島局 / 九州局自動選択
受信ON／OFF	あり
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒
アラーム機能	設定した時刻にアラームが作動する
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム	電子音または振動 選択式
音量調節	なし
スヌーズ機能	あり
オートストップ機能	あり
カレンダー	2011～2099 年対応
時刻表示形式	12時間／24時間　選択方式
照明	液晶表示部をLEDで照明
温度	
表示範囲	−9.9 ～ 50℃
温度の精度	±2℃
湿度	温度が5 ～ 50℃のときに表示
表示範囲	20～95%RH ㈰
湿度の精度	±10%RH
温湿度測定間隔	1 分

㈰%RHは相対湿度を表しています。天気予報など一般的には%が使用されています。
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　電池　2個　　取扱説明書・保証書　本書

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。

スヌーズ ライトボタン兼用　スピーカー　単4形アルカリ乾電池 2個

操作をするときは裏カバーを取り外し、操作後は裏カバーを取り付けてください。

⚠**注意** 電池の⊕⊖を指示と異なる向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

①リセット ②時刻合わせ ③強制受信 ④時刻/日付 ⑤12/24H ⑥モニター

①リセット　電池をセットした直後に押す。2011年1月1日AM12：00、アラーム時刻AM6：00にセットされます。楊枝など細い棒状のもので押してください。

②時刻合わせ　手動で日時を合わせるときに使用。

③強制受信　受信機能がONのときに押すと受信を開始。

④時刻/日付　時刻、日付の表示位置切り替え。

⑤12/24H　時刻の表示形式切り替え。

⑥モニター　アラームの音や振動を試すときに使用。

⑦アラームスイッチ　アラーム機能のON/OFF切り替え。

⑧⊕ ⑨⊖　手動での日時合わせ、アラーム時刻合わせ。

	押してすぐ離す	押し続ける
⊕	1つ進む	早送り
⊖	1つ戻る	早戻し

⑩アラーム選択　電子音または振動を選択。

1 使いはじめるとき　電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れると「ピィ」と鳴ります。**

❷ **リセットを押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。**

※受信中はボタンに触れないでください。⊕または⊖を押すと受信を中止します。

※誤作動を防ぐため、必ずリセットを押してください。

❸ **20分待ってから受信結果を確認してください。**

受信マークが点灯していれば受信成功です。消灯しているときは「**標準電波を受信できないとき**」をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセット直後〉　〈受信開始〉

曜日により位置が変わる　受信マーク（受信中点滅）

受信中の受信マークの変化（電波サーチ機能）

電波の状態により変化します。

受信できない ············ 受信しやすい　① ② ③ ④

チェック！

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセット**を押し、再度受信を開始させてください。

（表示例）

受信成功　受信マークが**点灯**　正しい日時を表示。

受信失敗　受信マークが**消灯**　日時は正しくありません。

●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。

●受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて**リセット**を押して再度受信を試みてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できないとき

●**朝までそのままにしておく**

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って西暦年、月、日、時、分の順に合わせてください。

⊕または⊖で数値を合わせて**時刻合わせ**を押します。**時刻合わせ**を押すと次の項目に進みます。⊕と⊖は、押してすぐ離すと1つ単位に、押し続けると数値が早く変わります。

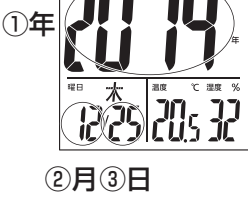
操作例　2014年12月25日　午前10:37に合わせる

西暦年が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続けて設定状態にします。

※対象が点滅します。

①年を合わせる
②月を合わせる
③日を合わせる

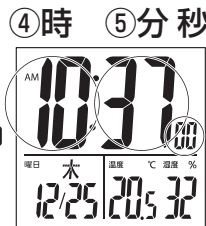
①年

②月③日

④時を合わせる
⑤分を合わせる

分のときに⊕または⊖を押すと秒が00になる。

以上で設定が出来ました。

④時　⑤分 秒

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
●手動で日時を合わせても、受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を修正します。
●時間精度はクオーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

■ アラーム時刻を合わせる

①アラームスイッチをOFFにする
②⊕または⊖を押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
③⊕または⊖でアラーム時刻を合わせる
④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

■ アラームスイッチのON/OFF設定

ON：設定時刻にアラームが作動する。アラーム時刻と((•))を表示。
OFF：アラームを止める、作動させない。

■ アラームの選択

電子音または振動のいずれかを選択。

12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)の表示に注意

アラーム選択　アラームスイッチ

振動を選択すると時計全体が振動します。このとき振動により製品が動くことがあります。

◎オートストップ機能（自動鳴り止め）

アラームは2分で自動停止します。

◎スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、**スヌーズ**を押すと、5分間アラームが停止してからまた作動します。停止中はアラームマークが点滅します。

スヌーズは7回まで繰り返すことができます。8回目の**スヌーズ**を押すとアラームは止まります。

◎アラームを試すには

モニターを押すと2分間アラームが作動します。途中で止めるには、再度**モニター**を押してください。

受信中やアラーム、日時の設定中は使えません。

◎アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのままでは、毎日アラームが作動します。

3 温度・湿度について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

直射日光が当たる所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、これらの影響を受けやすくなります。湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。

※ポケットなどに入れて携帯したときや手で持ったままのときは、測定に人体の影響を受けます。
※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
※厳密な温度、湿度の管理や商取引には使えません。

■測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」－9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超えている　「LL」20%未満　「--」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

4 表示形式を切り替える

■**12/24H**を押すとAM（午前）/PM（午後）付12時間表示と24時間表示が切り替わります。

■**時刻/日付**を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。

時刻優先　日付優先

AMまたはPMが表示されているときは12時間表示です。24時間表示は 00:00 00 ～ 23:59 59。

次の状態のときは、表示の切り替えは出来ません。電波の受信中、アラームが鳴っている、スヌーズ状態、アラーム時刻または日時の設定中。

5 表示面を照明する

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明をしたときは、時計上方より見てください。

※明るい所では、照明の効果は確認できません。

6 設置について

時計を立てて使用するときは、スタンドを右図のように引き起こしてください。転倒や落下を防ぐため、水平で振動の少ない所に置いてください。

スタンド

⚠**注意**　スタンドに無理な力を加えると、外れたり破損したりします。

⚠注意　電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

必ず守る　**電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

●液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（日時を標準電波で修正しない）

リセットを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピィ」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピィ」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

⊖を押しながら、**リセット**を押して離すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に⊖を離してください。定期的に標準電波を受信して標準時刻に合わせます。

※受信機能は、回路内に電荷がなくなるとONになります。
※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

リセットと強制受信

リセットは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。2011年1月1日、午前12：00、アラーム時刻が午前6：00にセットされ、受信機能がONのときは受信を開始します。

強制受信は、場所を移動したときなどすぐに受信を開始するときに押します。受信に失敗しても日時を継続します。